

科目名	栄養指導実習	科目分類	☐ 基礎教育科目 ☒ 専門教育科目
			☐ 卒業必修 ☒ 栄養士必修 ☐ 選択
英文表記	Practice in Nutrition Education	開講年次	☐ 1年 ☒ 2年
ナンバリング	NG220D	開講期間	☒ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年 ☐ 集中
ふりがな	とみおか かなえ	授業形態・修得単位	実習・1単位
担当教員名	富岡 佳奈絵	実施方法	☒ 対面のみ ☐ 遠隔のみ
		実務家教員担当科目	☐ 対面・遠隔併用
授業のテーマ	多様な場における栄養教育マネジメントサイクルに基づいた栄養指導を実践できる力を身につける。		
授業概要	多様な場における栄養指導の計画立案・教材作成・指導・評価を実践し、栄養教育マネジメントに必要な知識と技術を習得する。		
到達目標	1. 食事調査結果から課題の抽出ができる。 2. 対象者の課題の改善に向け、栄養学関連の基礎的知識を活用して栄養教育計画を立案できる。 3. 栄養指導に必要な教材・媒体の作成ができる。 4. 栄養教育計画の発表、栄養指導の実践を通して、プレゼンテーションスキルを修得する。 5. 実施した栄養指導に対して意見交換を行い、評価することができる。		
授業時間外の学習	事前学修：事前に次回の実習内容について関連する資料を調べておく 事後学修：課題、教材・媒体などの作成		
履修条件	栄養指導論Ⅰの単位を修得していること、栄養指導論Ⅱを履修していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	テーマ：ガイダンス 食事調査① 食事調査について、秤量法についての説明		
第2回	テーマ：食事調査② 食物摂取状況調査の栄養素等摂取量の算出		
第3回	テーマ：食事調査③ 推定エネルギー必要量の算出、調査結果の栄養診断		
第4回	テーマ：食事調査④ 栄養教育目標の設定・栄養介入計画の作成		
第5回	テーマ：食事調査⑤ 食事調査の報告・栄養教育計画の発表		
第6回	テーマ：栄養教育・指導事例紹介（講義、説明）		
第7回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 高齢期① 要点整理・栄養教育計画立案		
第8回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 高齢期② リーフレット作成		
第9回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 高齢期③ 指導の実践・評価・改善		
第10回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児① 要点整理・優先課題の選定、目標設定		
第11回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児② 栄養教育カリキュラムの作成		
第12回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児③ 指導案の作成		
第13回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児④ 教材作成		
第14回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児⑤ 指導の実施・評価（1）		
第15回	テーマ：ライフステージ別栄養教育・指導 乳幼児⑥ 指導の実施・評価（2）、改善		
第16回	定期試験		
テキスト	永井成美・赤松利恵「Visual 栄養学テキスト 栄養教育論 第2版」中山書店		
参考文献・資料	武見ゆかり 他「健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 第5版」南江堂、日本人の食事摂取基準（2025年版）、日本食品標準成分表（八訂）他、適宜紹介する。資料はポータルサイトまたは授業の際に配付する。		
成績評価の方法	実習の取り組み・発表・提出物（70%）、定期試験（30%）で総合的に評価する。 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。		

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	木曜日 13:00～14:30
受講生に 望むこと・受講 のルール	栄養指導論Ⅱと連携して行います。実習内容に応じて必要な資料を持参し、積極的に授業に参加すること。 授業内で終えることのできなかった課題は時間外で行い、期限内に必ず提出すること。